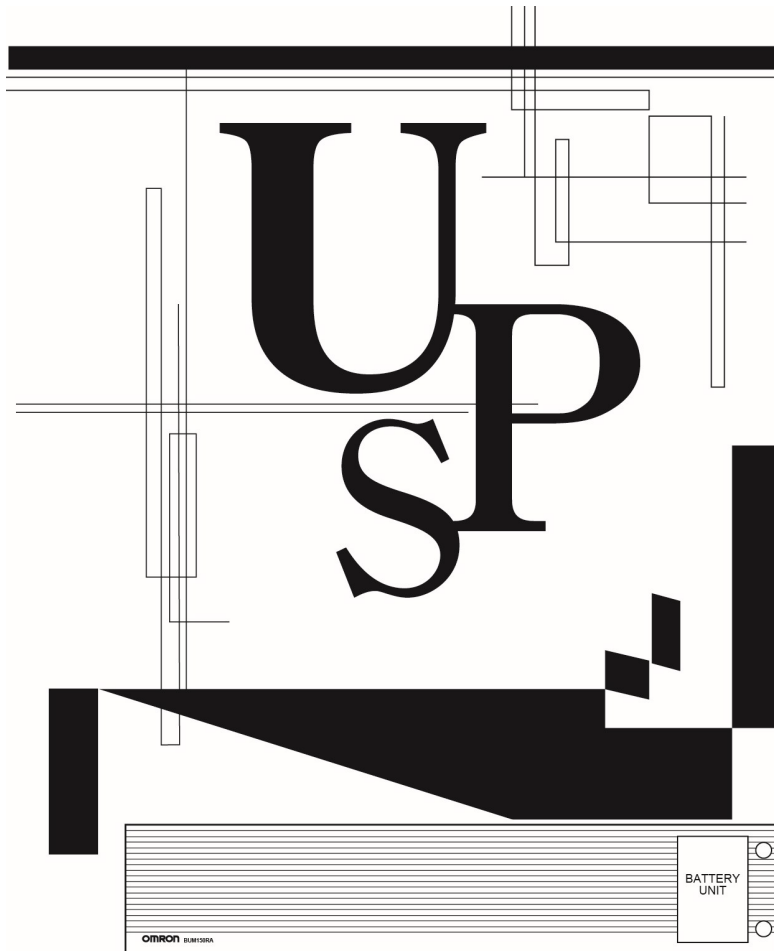


# OMRON

## 増設用バッテリーユニット

### BUM150RA 取扱説明書



- この説明書には本機を安全にご使用いただくため重要なことが書かれていますので、設置やご使用される前に必ずお読みください。
- この説明書は必要な時はいつでも読めるよう本機の設置場所の近くに保管し、ご使用ください。
- 保証書は本製品に同梱されております。

# はじめに

このたびはオムロン製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この説明書には増設用バッテリーユニット(BUM150RA) (以降、増設バッテリーユニットと呼ぶ)を安全にご使用いただくため重要なことが書かれていますので、設置やご使用される前に必ずお読みください。

## 免責事項について

本取扱説明書に記載の安全上のご注意を含む設置から運転までの手順を守らなかったことによって生じた損害、当社製品に起因する他の装置・接続機器・ソフトウェアの異常、故障その他の二次的な損害、その他の当社製品によって生じた損害(事業利益の損失、事業中断、情報の損失またはその他の金銭的損害を含む)の賠償および補償には応じかねます。

- 最初に安全上のご注意について記載していますので、必ずお読みいただき、正しくご使用ください。
- 本機を第三者に譲渡・売却する場合は、本機に添付されている書類など全てのものを本機に添付の上、譲渡してください。  
本機は添付書類など記載の条件に従うものとさせていただきます。
- 本説明書には、安全に関わる内容などが記載されています。内容をご確認の上、ご使用ください。
- 人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置などについては、システムの多重化、非常用発電設備など、運用維持、管理について特別な配慮が必要となります。特に信頼性の要求される重要なシステムなどへの使用に際しては、オムロン電子機器カスタムサポートセンタへご相談ください。
- 本機は、日本国内専用品です。
  - ・日本国外の電源には対応しておらず、日本国外での使用は故障、火災の原因となることがあります。また、日本国外の法規制には対応しておりません。
  - ・日本国外への輸出および日本国外での使用は、お客様の判断と責任の下で行われるものとし、当社は一切の責任を負いません。
  - ・お客様の判断により本機を輸出(個人による携行を含む)される場合は、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。



# 目次

はじめに .....	2
目次 .....	3
安全上のご注意 .....	4
1 準備 .....	10
1-1 製品の取り出し .....	10
1-2 付属品の確認 .....	10
1-3 設置方向 .....	11
2 設置方法 .....	16
2-1 ラックマウント設置 (EIA/JIS19 インチラック・サーバラック) .....	16
2-2 据置き設置 .....	19
3 接続方法 .....	21
3-1 増設バッテリーユニットの接続 .....	21
3-2 増設バッテリーユニットとの接続 .....	23
4 バッテリーの交換 .....	25
4-1 バッテリーの交換 .....	25
バッテリー交換時期のお知らせ .....	25
バッテリーの交換方法 .....	26
5 参考資料 .....	33
5-1 外形寸法図 .....	33



# 安全上のご注意



安全に使用していただくために重要なことがらが書かれています。設置やご使用開始の前に必ずお読みください。

この説明書の安全についての記号と意味は以下の通りです。

 <b>警告</b>	正しい取り扱いをしなければ、軽傷・中程度の傷害を負ったり、万が一の場合は重傷や死亡に至る恐れがあります。また、同様に重大な物的損害を受ける恐れがあります。
 <b>注意</b>	正しい取り扱いをしなければ、軽傷・中程度の傷害を負ったり、あるいは物的損害を受ける恐れがあります。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。

 **禁止**（してはいけないこと）を示します。たとえば  は分解禁止を意味しています。

 **強制**（必ずしなければいけないこと）を示します。たとえば  はアースの接続が必要であることを意味します。

なお、注意に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性もあります。いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

## 警告（設置・接続時）

梱包のポリ袋やフィルム類は、幼児の手の届かない場所に保管する。

- 小さいお子様がかぶったりのみ込んだりすると、呼吸を妨げる危険性があります。



取り出しや運搬の際は、重量・バランスに注意して取り扱い、安定した水平な場所、頑丈な場所に置いて使用する。また、設置作業は安定した平らな場所で行う。

- 製品の重心が偏っています。取り出しや運搬の際は、転倒や落下にご注意ください。巻き込まれるとけがをする恐れがあります。また、衝撃でバッテリーが発熱、発煙、破裂、発火する恐れがあります。
- 落下させた場合はすぐに本機の使用を中止し、点検、修理を依頼してください。点検、修理については UPS 本体の取扱説明書（最終ページ）の「お問い合わせ窓口」へご相談ください。
- 本機の質量については本機のラベルを参照してください。



質量が 25kg を超える場合、運搬、取り出し、設置の作業は 2 人以上で行う。

- 転倒や落下にご注意ください。巻き込まれるとけがをする恐れがあります。
- 質量については本機のラベルを参照してください。



フロントパネル部に手を掛けて持ち上げない。

- パネルがはずれて落下によりけがをする恐れがあります。



本機を正しい方法で設置する。

- 誤った方法で設置すると、転倒や落下に巻き込まれてけがをする恐れがあります。
- 設置面と本機の底面の間に指をはさまないようにご注意ください。
- 指定方向以外で設置すると、バッテリーから液体（電解液）が漏れたときに保護ができません。



本機の上にものを乗せたり、重量物を落下させたりしない。

- 落下してけがをする恐れがあります。
- ケースのゆがみや破損、内部回路の故障により発煙、発火、火災の恐れがあります。
- 荷重によりバッテリー交換がしにくくなる場合があります。
- 放熱性能の低下によりバッテリーや電子部品の寿命が短くなり、機器の故障にいたる可能性があります。



ラックに設置する際は、必ず増設バッテリーユニットを UPS 本体よりも下に設置する。  
● ユニットごとに個別にサポートアングルで支持してください。



ラックに設置する際は、必ず指定のサポートアングル（ラックレールと耳金具）を使用して、本機を支持・固定する。

- ラックレールなしで耳金具だけでは重量を支えることができません。本機が落下し、けがをする恐れがあります。
- 指定以外のサポートアングル（ラックレールと耳金具）を使用すると、破損して本機が落下し、けがをする恐れがあります。
- 本体の質量については本機のラベルを参照してください。



ラックに設置する際は、ラックの最下段に本機を設置する。

- 落下によりけがをする恐れがあります。
- 重量物となりますので、上段側に設置し落下した際に、他機器を破損することがあります。



取付けねじは必ず付属のものを使用する。

- 本機への取り付けに付属品以外の長いねじを使用すると、内部を損傷することがあります。
- 付属品以外のねじを使用すると強度不足により、本機が落下し、けがをする恐れがあります。



使用環境が仕様範囲を超えないようにする。

- 本機が故障したり、火災を起こしたりする恐れがあります。
- バッテリーが急速に劣化し、火災などの恐れがあります。
- 周囲温度、湿度については UPS 本体の取扱説明書を参照してください。
- 本機の使用時なども上記に準じます。



ケーブルを引っ張ったり、はさんだり、無理に折り曲げたりしない。ケーブルを束ねて使用しない。

- ケーブルの損傷や発熱により、感電や火災の恐れがあります。
- ケーブルに異常がある場合はすぐに本機の使用を中止し、修理を依頼してください。修理については UPS 本体の取扱説明書を参照してください。



本機に増設バッテリーを接続する場合、指定の台数以上は接続しない。

- 指定の台数を超えて接続すると、発煙、発火する恐れがあります。



増設バッテリーユニットの接続は、商用電源の供給を停止し、電源を切ってから行う。

- 電源が入った状態で接続すると、感電の恐れがあります。
- 商用電源の供給停止については UPS 本体の取扱説明書を参照してください。





## 警告(使用時)

濡らしたり、水をかけたりしない。

- 感電や発煙、発火の恐れがあります。
- 水に濡らした場合はすぐに本機の使用を中止し、商用電源の供給を止めてください。
- 商用電源の供給停止については UPS 本体の取扱説明書を参照してください。
- 商用電源の供給を止めたら、点検、修理を依頼してください。修理については UPS 本体の取扱説明書を参照してください。



寿命がきたバッテリーはすぐに交換するか、本機の使用を中止する。

- 使用を続けると液漏れまたはマイクロショート（内部短絡）により、感電、発煙、発火の恐れがあります。
- バッテリーは下表の期間内に必ず交換してください。

平均周囲温度	期待寿命
20℃	5年
30℃	3.5年
35℃	2.5年
40℃	1.7年

※左表は標準的な使用条件での期待寿命であり、保証値ではありません。



密閉した場所で使用したり、カバーを掛けたりしない。

- 異常な発熱や、発煙、発火による火災の恐れがあります。
- ご使用環境によっては、バッテリーから液漏れや、水素ガスが発生し、破裂や爆発、発火の恐れがあります。
- 本機周辺の換気を行ってください。



内部から液漏れがあるときは液体（電解液）に触れない。白煙がある場合は吸い込まない。

- 失明や、やけどをする恐れがあります。
- 液体（電解液）が、目や皮膚に付着したときは、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診断（診療）を受けてください。
- 白煙（電解液が霧状に飛散したもの）を吸い込んだときは、すぐに新鮮な空気を呼吸し、医師の診断（診療）を受けてください。
- 本機の保守時なども上記に準じてください。



コネクタやケーブルを持って本機を引き出さない。

- 発煙・発火の恐れがあります。



## 警告(保守時)

分解、修理、改造をしない。

- 感電や発煙、発火の恐れがあります。












本機を火の中に投棄しない。

- バッテリーが破裂、爆発したり、液体（電解液）が漏れたりすることがあります。また、火災の恐れがあります。



## ⚠ 警告(バッテリー交換時)

<p>バッテリーの分解、改造をしない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 液体（電解液）が漏れ、触れると失明、やけどなどの恐れがあります。</li> </ul>	
<p>バッテリーを落下させたり、強い衝撃をあたえたりしない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● バッテリーが発熱、発煙、破裂、発火する恐れがあります。</li> <li>● 液体（電解液）が漏れ、触れると失明、やけどなどの恐れがあります。</li> <li>● 落下に巻き込まれるとけがをする恐れがあります。</li> </ul>	
<p>バッテリーを火の中に投棄したり、破壊したりしない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● バッテリーが破裂、爆発したり、液体（電解液）が漏れたりすることがあります。また、火災の恐れがあります。</li> </ul>	
<p>交換作業は安定した平らな場所で行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● バッテリーは落下しないよう、両手でしっかりと保持してください。落下によるけが、バッテリーからの液漏れによる失明や、やけどなどの恐れがあります。</li> <li>● バッテリーコネクタを差し込んだときに、「パチッ」と音が聞こえることがありますが、問題ありません。</li> </ul>	
<p>バッテリーは必ず指定品を使用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 指定以外のバッテリーを使用した場合、本機の故障、発煙、発火、火災の恐れがあります。不適切な種類のバッテリーに交換した場合は、爆発の恐れがあります。</li> <li>● 同じ種類、同じ数のバッテリーに交換してください。バッテリーについては、UPS 本体の取扱説明書を参照してください。</li> </ul>	
<p>可燃性ガスがある場所でバッテリーを交換しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● バッテリーを接続する際、火花が飛び、爆発、火災の恐れがあります。</li> </ul>	
<p>バッテリーから液漏れがあるときは液体（電解液）に触れない。またバッテリーを逆さまにしない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 失明や、やけどをする恐れがあります。</li> <li>● 液体（電解液）が、目や皮膚に付着したときは、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診断（診療）を受けてください。</li> <li>● バッテリーを包装してあるビニール袋にそのまま入れ、テープで封止してください。</li> </ul>	
<p>バッテリー接続コネクタやバッテリー収納部に金属物を挿入しない。バッテリーやコネクタの端子間をショートさせない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 感電や発煙、発火、やけどの恐れがあります。</li> <li>● 使用済みのバッテリーでも、内部に電気エネルギーが残っています。</li> </ul>	
<p>バッテリーを取り外すときに、ケーブルやコネクタを持って引っ張らない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ケーブルの損傷により、感電や発煙、発火の恐れがあります。</li> </ul>	

## 安全上のご注意

バッテリー交換の際は、以下の注意事項を遵守する。

遵守しない場合、UL 規格に適合しません。

- 感電、ショートのおそれがあります。
  - ・ 時計、指輪などの貴金属類は着用しないでください。
  - ・ グリップ部分が絶縁されたドライバを使用してください。
  - ・ 絶縁性の手袋と靴を着用してください。
  - ・ バッテリーの上には工具や金属類を置かないでください。
  - ・ バッテリーを接地しないでください。また、接地状態のバッテリーには触らないでください。
  - ・ 本機内部に手を入れしないでください。
- バッテリー交換はバッテリーの危険性や注意すべきことを理解している人に依頼する、またはその人の監督の下で行ってください。



### 注意(設置・接続時)

同梱されているすべての付属品は、本機に限り使用できるものであり、他の機器には使用しない。

- 他の機器を安全にご使用いただくために必ずお守りください。



### 注意(使用時)

本機の上部に腰掛けたり、乗ったり、踏み台にしたり、寄りかかったりしない。

- 本機の故障だけでなく、転倒によりけがをする恐れがあります。



### 注意(バッテリー交換時)

UPS 本体に増設バッテリーユニットを接続している場合は、UPS 本体と増設バッテリーユニットのバッテリーを必ず同時に交換する。

- 新しいバッテリーと古いバッテリーを同時に使用するとバッテリーが早く劣化し、液漏れする恐れがあります。



新しいバッテリーと古いバッテリーを同時に使用しない。

- バッテリーが早く劣化し、液漏れする恐れがあります。



UPS 本体を UL 規格適合品として使用する場合、バッテリー交換作業は、接続機器の AC 入力プラグを抜いた状態で UPS 本体の電源を切り、商用電源の供給を止めてから行う。

- 運転状態でのバッテリー交換機能は、UL 規格に適合していません。
- 交換作業中は、接続機器への給電はできません。バックアップ運転中にバッテリー交換をしないでください。また、運転状態でのバッテリー交換中に停電などの入力電源異常が発生した場合、出力は停止します。
- 商用電源の供給停止については UPS 本体の取扱説明書を参照してください。





## お願い

購入後は早めに充電してください。

ご購入後長期間充電しないと、バッテリーが劣化し、使用できなくなることがあります。

- 充電時間については、UPS 本体の取扱説明書を参照してください。

この製品には、鉛バッテリー（鉛蓄電池）を使用しています。

- 鉛バッテリーはリサイクル可能な貴重な資源です。鉛バッテリーの交換および使用済み製品の廃棄に際しては、リサイクルへご協力ください。

リサイクルについては、UPS 本体の取扱説明書（最終ページ）の「お問い合わせ窓口」までご連絡いただくか、当社ホームページより、リプレイスサービス引取申込書をダウンロードして、必要事項をご記入のうえ、当社までご送付ください。

その際に、ショートの実験がありますので、端子部をテープ等で絶縁してください。



バッテリーを本機に入れて保管される場合はバッテリーを完全に充電し、電源を切ってください。また、以下の通り定期的に再充電してください。

バッテリーは使用しない場合でも自己放電し、長期間放置すると過放電状態となります。バックアップ時間が短くなったり、使用できなくなることがあります。

- 充電時間については UPS 本体の取扱説明書を参照してください。
- 再充電の目安
  - ・ 保管温度 25℃以下：6 か月以内
  - ・ 保管温度 40℃以下：2 か月以内
- 長期間保管される場合は 25℃以下の環境を推奨します。
- 保管中は UPS 本体の「電源」スイッチを切ってください。

本機を直射日光の当たる場所に設置あるいは保管しないでください。

- 本機が故障、劣化したり、発煙、発火により火災を起こしたりする恐れがあります。

本機を寒い場所から暖かい場所へ移動した後は、数時間放置してから使用開始してください。

- 急に暖かい場所へ移動すると水分が付着（結露）し、そのまま通電すると故障する恐れがあります。

頻繁にバックアップ運転をする用途に使用しないでください。

- バッテリーの劣化が早まり、寿命が著しく短くなる場合があります。

バッテリー交換後は、必ずバッテリー寿命カウンタをリセットしてください。

- バッテリー寿命カウンタのリセットを行わなかった場合、バッテリーの期待寿命より早くバッテリー交換アラームが発生してしまう恐れがあります。

# 1 準備

## 1-1 製品の取り出し

# 1 準備

## 1-1 製品の取り出し

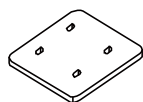
梱包箱をあけ、増設バッテリーユニットと付属品を取り出してください。

## 1-2 付属品の確認

付属品がすべて揃っているか、外観に損傷はないか確認します。

万一、不良品その他お気づきの点がございましたら、すぐにオムロン電子機器カスタマサポートセンターへご連絡ください。

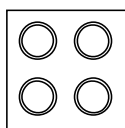
横置きゴム足	1 組
EIA/JIS19インチラック対応サポートアングル	1 セット
複数台ずれ防止金具	1 個
複数台ずれ防止金具用ねじ	4 個
ご使用上の注意事項	1 枚
バッテリー交換日ラベル	1 枚
製品番号ラベル	2 枚 1 組
保証書	1 枚
増設接続時用コネクタカバー	1 個



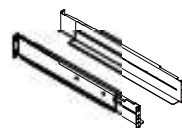
複数台  
ずれ防止金具



複数台ずれ  
防止金具用  
ねじ



横置き  
ゴム足



EIA/JIS19イン  
チラック対応サ  
ポートア  
ングル



バッテ  
リ交換日ラ  
ベル



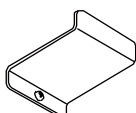
製品番号  
ラベル



保証書



ご使用上の  
注意事項



増設接続時  
用コネク  
タカバ  
ー

## 1-3 設置方向

本機を設置する際は、次図のように正しい方向で設置してください。

### ●正しい設置方向

<本機とUPS本体を重ねて設置する場合>

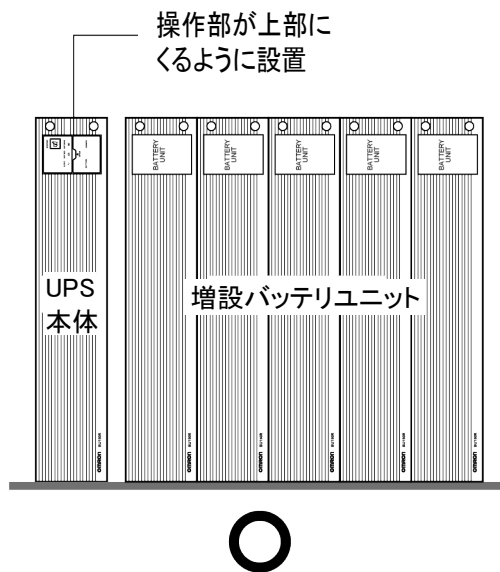


- ・ UPS本体 を上部に、本機を下にしてください。
- ・ 機器が逆さまにならないように設置してください。
- ・ 2 台 (UPS 本体 1 台、本機 1 台) まで重ね置きできます。
- ・ 3 台以上 (UPS 本体 1 台、本機 2 台以上) で設置する場合は、次項のように縦置きで並べて設置するか、ラックマウント設置方法で設置してください。

# 1 準備

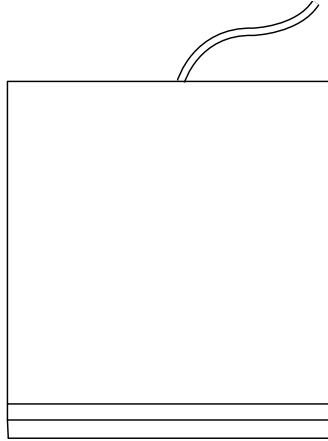
## 1-3 設置方向

＜本機と UPS 本体を並べて設置する場合＞

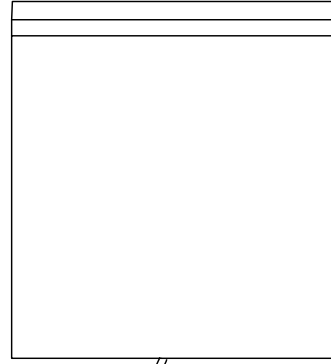


- ・ 操作部が上部にくるようにしてください。
- ・ 並べて設置する場合、本機は 6 台まで設置できます。

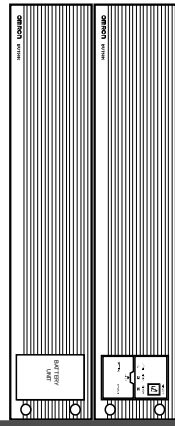
● 誤った設置方向



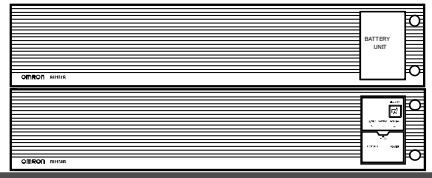
本機前面を下向き



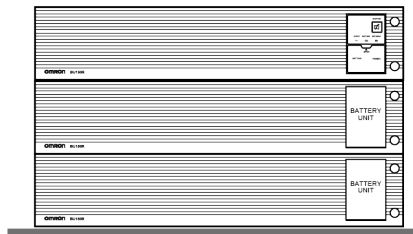
本機背面を下向き



右側面を下にして設置



UPS本体を下にして設置



3台以上を設置

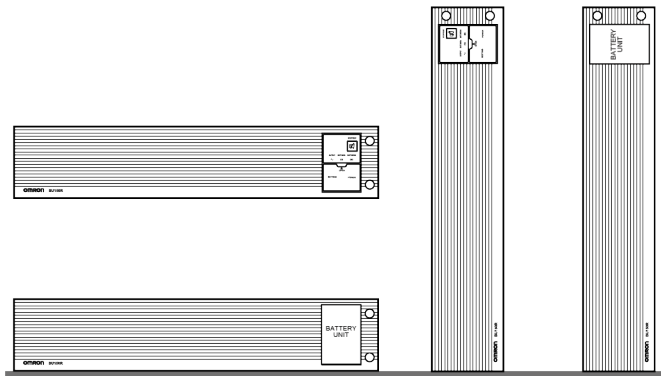


# 1 準備

## 1-3 設置方向

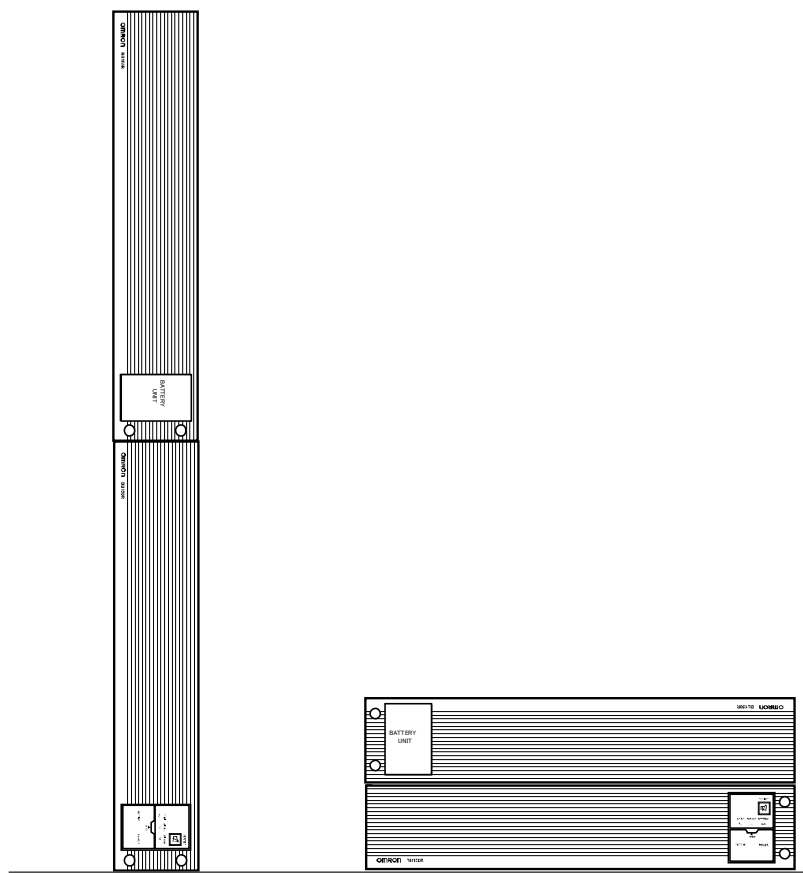


横に並べて設置 (ケーブルが届かないため)  
※ケーブル長は約350mmです



離して設置 (ケーブルが届かないため)  
※ケーブル長は約350mmです





縦に積み重ねる



天地逆に設置



## 2 設置方法

### 2-1 ラックマウント設置 (EIA/JIS19 インチラック・サーバラック)

# 2 設置方法

## 2-1 ラックマウント設置 (EIA/JIS19 インチラック・サーバラック)


EIA/JIS19 インチラック対応サポートアングルを使用して、本機をラックに設置します。

### ■19 インチラック対応サポートアングル (同梱品) の梱包内容

ラックレール (前) L	1
ラックレール (前) R	1
ラックレール (後)	2
耳金具	2
レール長さ固定ねじ (M4×8)	4
耳金具取付け皿ねじ (M3×6)	8
EIA/JIS ラック固定ねじ (M5×16)	10
JIS ラック固定皿ねじ (M5×14)	2
EIA ラック固定ナット (M5)	10

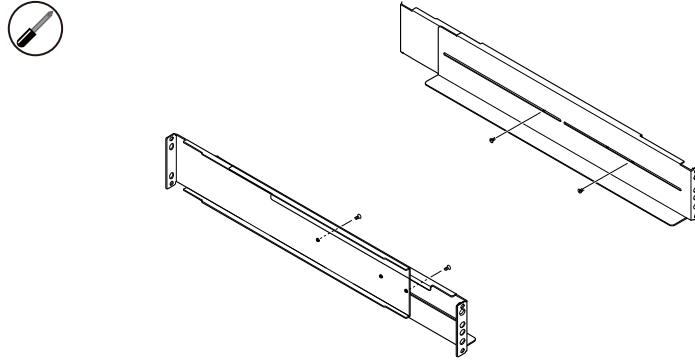


## 2-1 ラックマウント設置 (EIA/JIS19 インチラック・サーバラック)

 ねじを回すためにドライバが必要であることを示します。  
ねじの形状に合ったドライバをご用意ください。

## ■ラックへの取付方法

1. ラックレール (前) とラックレール (後) をレール長さ固定ねじ (小) (4 本) で仮止めします。ラックレール (前) は、左 (L) 右 (R) の 2 種類あります。ラックレール (後) は 1 種類です。



2. 取り付けるラックに合わせてラックレールの長さを調節し、手順 1 で仮止めしたねじをしっかりと固定します。

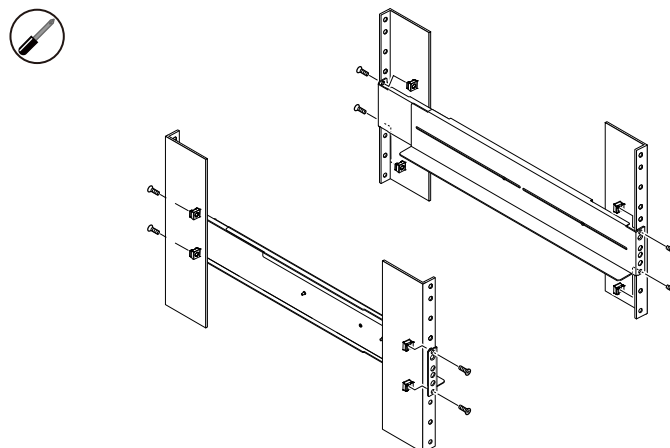
ラックレールの伸縮範囲は 487 ~ 891mm です。

3. ラックレールをラックに取り付けます。  
EIA 規格の場合は、ラックレールの前面 (L もしくは R と表示) および背面を、付属の EIA ラック固定ナット (M5) (8 個) と EIA/JIS ラック固定ねじ (M5) (8 本) でラックにしっかりと固定します。

ねじ穴位置は、前後ともに一番上と一番下のねじ穴です。

JIS 規格の場合は、左右のラックレールの前 1 か所を JIS ラック固定皿ねじ (M5) (計 2 本) で、後ろ 2 か所を EIA/JIS ラック固定ねじ (M5) (計 4 本) でラックにしっかりと固定します。  
ねじ穴位置は、前は上から 2 番目、後ろは上から 2 番目と下から 2 番目のねじ穴です。

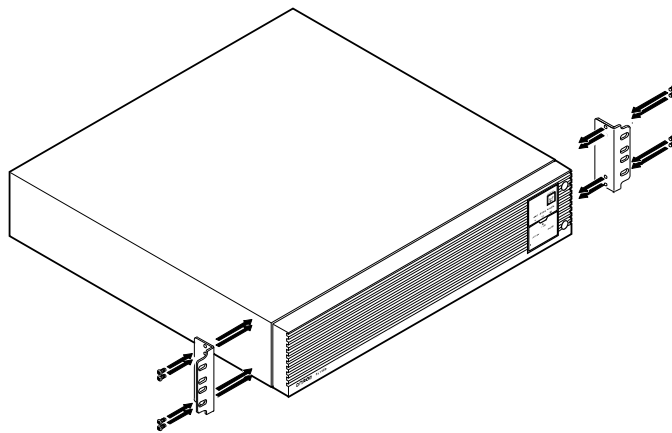
● 特殊仕様の EIA/JIS ラックには、ラックレールを取り付けることができません。



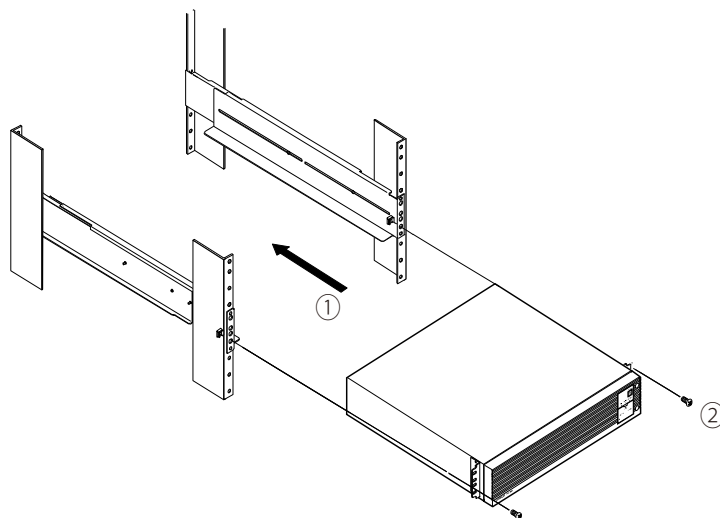
## 2 設置方法

### 2-1 ラックマウント設置 (EIA/JIS19 インチラック・サーバラック)

4. 本機に耳金具 (2 個) を取り付けます。  
本機の左右側面に、耳金具取付け皿ねじ (M4) (各 4 本) で固定してください。



5. 本機をラックレールに乗せて奥までしっかり押し入れ (①)、耳金具を EIA/JIS ラック固定ねじ (M5×16) (2 本) でラックに取り付けて本機をしっかり固定します (②)。



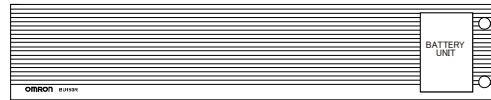
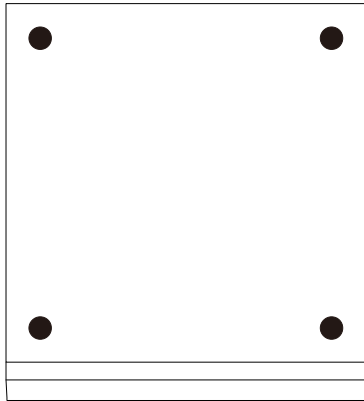
## 2-2 据置き設置

下図以外の設置は行わないでください。

### ■ 横置き

付属の横置きゴム足を貼り付けて本機を設置します。

- 滑り、落下などにご注意ください。



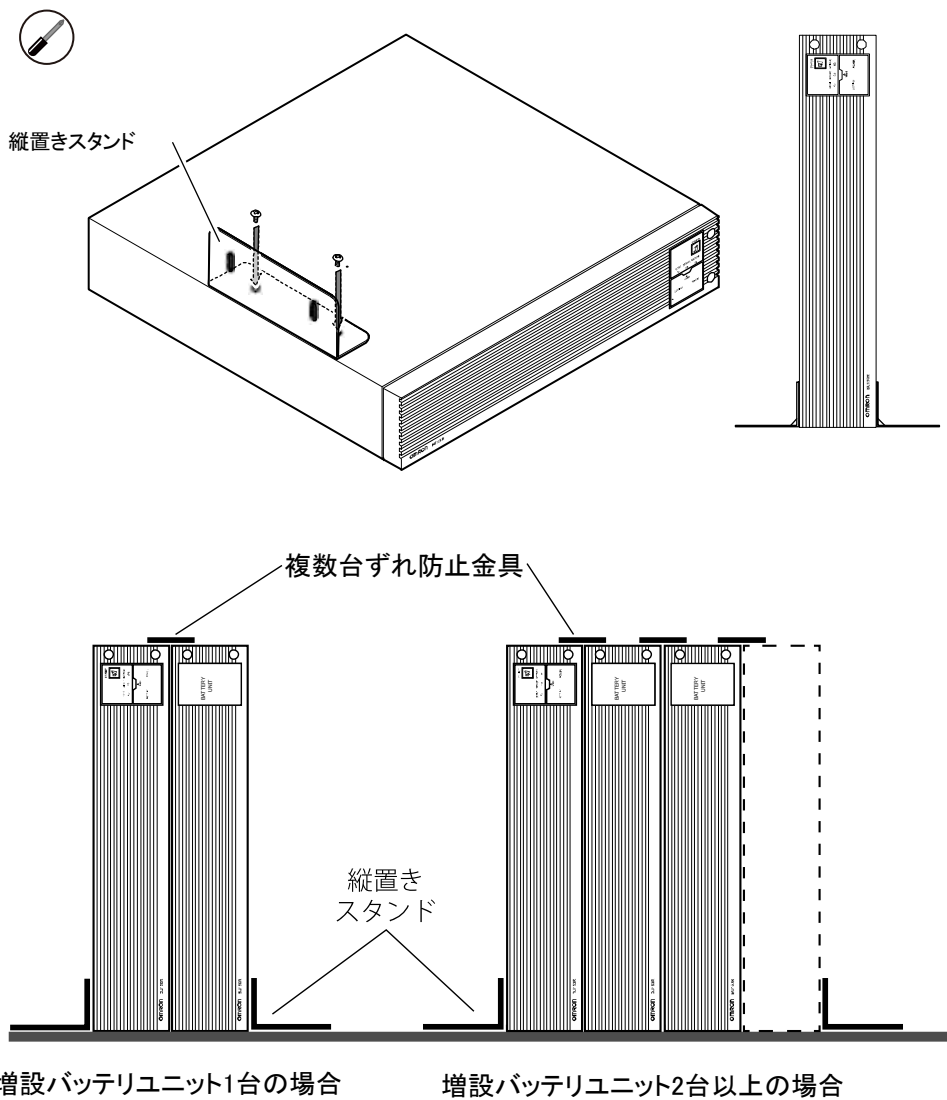
## 2 設置方法

### 2-2 据置き設置

#### ■ 縦置き

UPS本体付属の縦置きスタンドを左右に取り付けて本機を設置します。

- UPS本体付属の縦置きスタンドねじ(M4) (4本)を使用して取り付けてください。



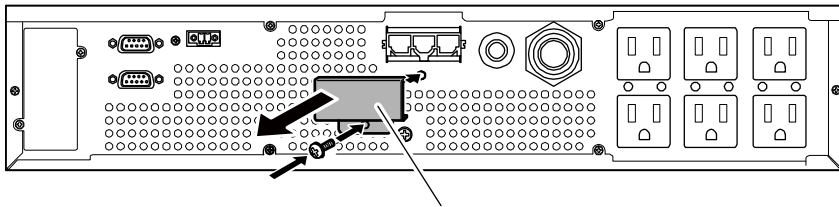
# 3 接続方法

## 3-1 増設バッテリーユニットの接続

本機を UPS 本体 (BU150R) と接続します。

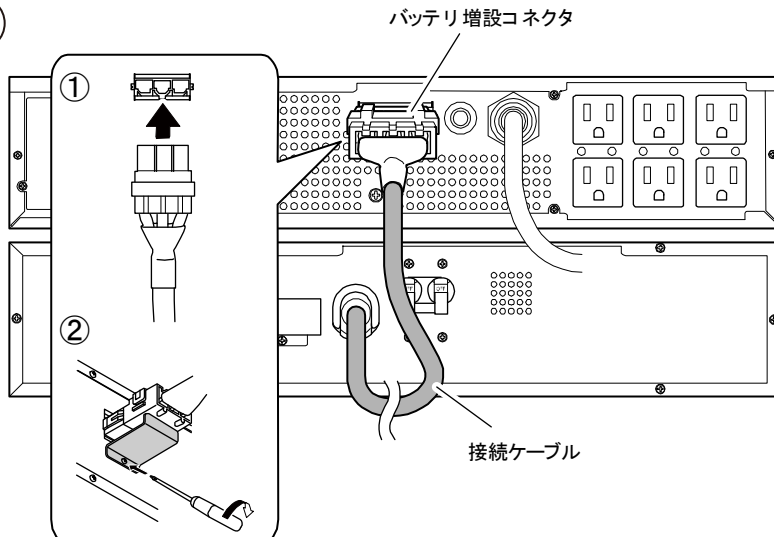
- 増設バッテリーユニットを接続すると、満充電に必要な充電時間が延びます。充電時間については、UPS 本体の取扱説明書を参照してください。
- 増設時のバックアップ時間については UPS 本体の取扱説明書を参照してください。

1. UPS 本体の電源を切り、AC 入力プラグを電源コンセント (商用電源) から抜きます。
2. UPS 本体背面のバッテリー増設コネクタカバーを取り外します。  
バッテリー増設コネクタカバー下のねじ (1 本) を取り外してください。



バッテリー増設コネクタカバー

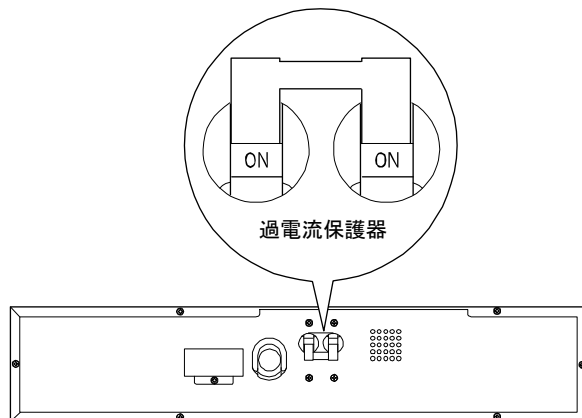
3. 増設バッテリーユニットの接続ケーブルを、UPS 本体のバッテリー増設コネクタに接続し (①)、付属の増設接続時コネクタカバーを取り付けます (②)。



### 3 接続方法

#### 3-1 増設バッテリーユニットの接続

4. 増設バッテリーユニットの過電流保護器をON にします。  
増設バッテリーユニットの前面のバッテリー増設ランプが点灯します。



5. UPS本体のAC 入力プラグを、電源コンセント(商用電源)に差し込みます。
6. 増設バッテリーユニット数を設定します。  
設定方法はUPS本体の取扱説明書を参照してください。  
※本機と増設バッテリーユニットを接続した状態で長期間使用しない場合は、増設バッテリーユニットの過電流保護器をOFFにしてください。

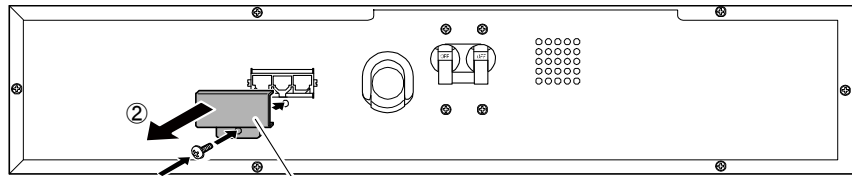
#### 参考

- 本機1台を UPS 本体 (BU150R) に接続すると、バックアップ時間は 700W の機器を接続した場合に 55 分になります (周囲温度 20°C、バッテリー初期値)。
- 充電時間は完全放電状態から 24 時間になります。(UPS本体 8 時間、本機 16 時間)

## 3-2 増設バッテリーユニットとの接続

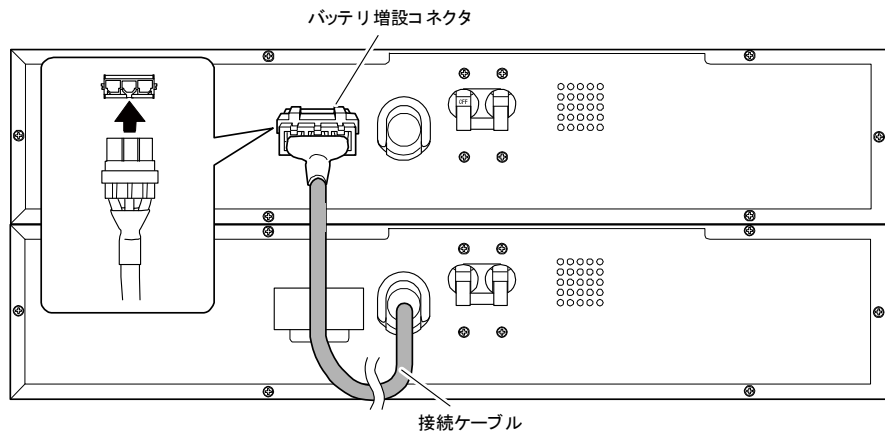
本機にさらに増設バッテリーユニット（BUM150RA）を増設することができます。  
6 台まで接続することができます。

1. 本機背面のバッテリー増設コネクタカバーを取り外します。  
カバー下のねじ 1 本を緩めて外します。



バッテリー増設コネクタカバー

2. 増設バッテリーユニットの接続ケーブルを本機背面のバッテリー増設コネクタに接続します。

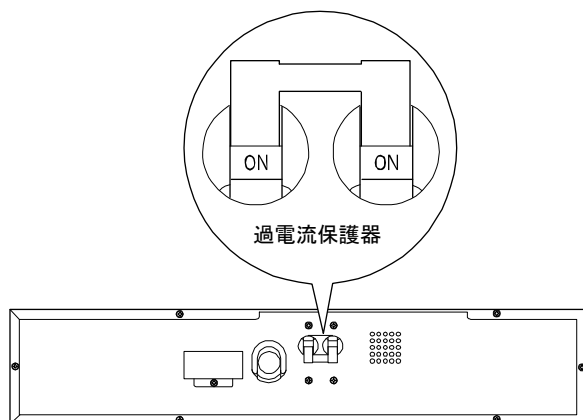


接続ケーブル

### 3 接続方法

#### 3-2 増設バッテリーユニットとの接続

3. 増設バッテリーユニットの過電流保護器をON にします。  
増設バッテリーユニットの前面のバッテリー増設ランプが点灯します。



4. UPS本体のAC 入力プラグを、電源コンセント(商用電源)に差し込みます。
5. 増設バッテリーユニット数を設定します。  
設定方法はUPS本体の取扱説明書を参照してください。  
※本機と増設バッテリーユニットを接続した状態で長期間使用しない場合は、増設バッテリーユニットの過電流保護器をOFFにしてください。

#### 参考

- 
- 増設台数ごとのバックアップ時間はUPS本体(BU150R)の取扱説明書を参照してください。  
接続した場合に 55 分になります ( 周囲温度 20°C 、バッテリー初期値 )。
  - 充電時間は増設1台ごとに16時間増加します。
-



## 4 バッテリーの交換

UPS本体が運転中止(電源出力停止)、運転(電源出力中)のどちらの状態でもバッテリーの交換ができます。

### 4-1 バッテリーの交換

#### バッテリー交換時期のお知らせ

バッテリーが交換時期になると、UPS 本体の「バッテリー交換」ランプが点灯してブザーが鳴動します。

バッテリー寿命は、バッテリー寿命カウンタにより検知されます。バッテリー寿命カウンタは工場出荷時より、商用電源が供給されている間カウントされます(バッテリーの周囲温度が 25 °C より高い場合、カウントは加速されます)。

UPS本体のブザーが鳴っている時は、「ブザー停止/テスト」スイッチを1秒間押してから離して、ブザー音を止めて操作してください。

#### ■ バッテリー点検の目安、頻度

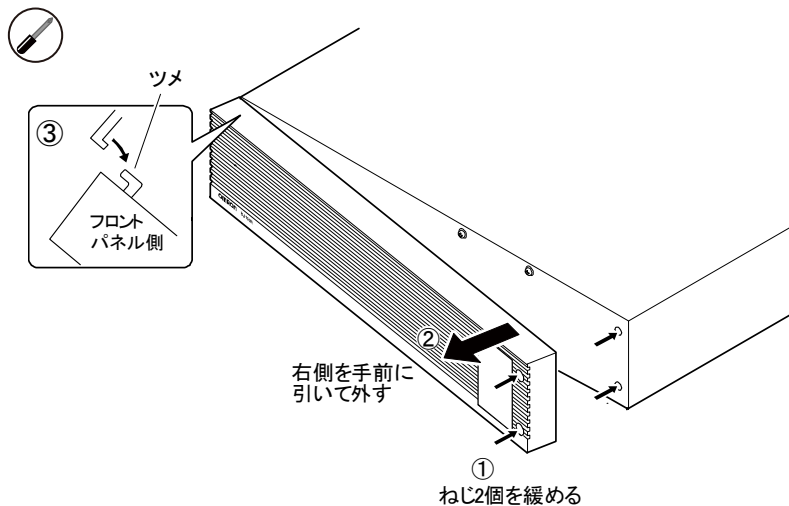
周囲温度	6 か月ごとの点検	1 か月ごとの点検
25°C	購入時から 4 年まで	使用開始から 4 年以降
30°C	購入時から 3 年まで	使用開始から 3 年以降
40°C	購入時から 1 年まで	使用開始から 1 年以降

## 4 バッテリーの交換

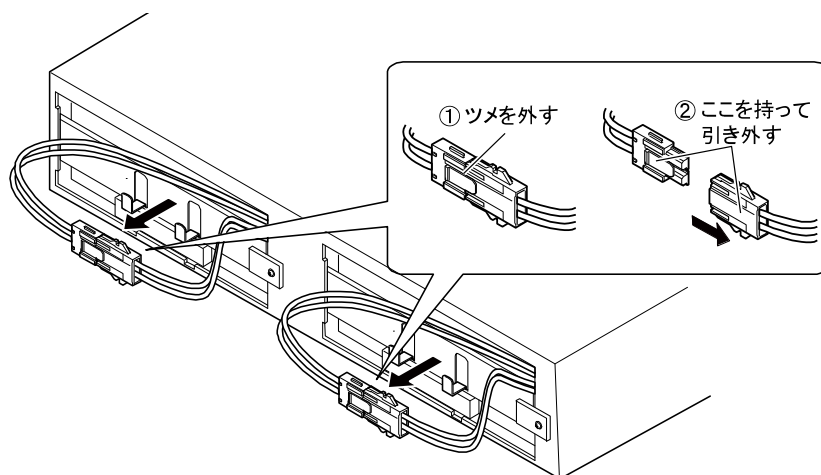
### 4-1 バッテリーの交換

#### バッテリーの交換方法

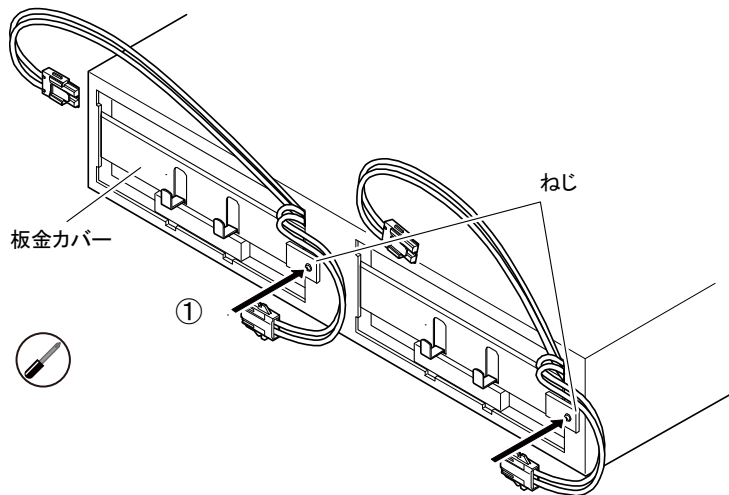
1. フロントパネル右側のねじ(2個)を緩め(①)、フロントパネルの右側を手前に引いて取り外します(②)。  
フロントパネルを強く手前に引くとツメが折れることがあります。少し手前に引いてから右方向にスライドするように取り外してください(③)。



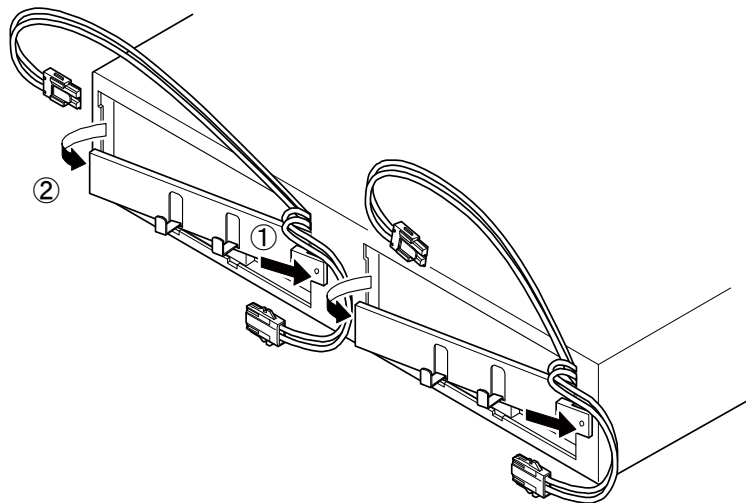
2. バッテリーケーブルをケーブルホルダから外します。  
コネクタのツメを外し(①)、バッテリーコネクタを持ちながらコネクタ同士を引き外します(②)。



3. 板金カバーを固定しているねじ(1個)を外します(①)。



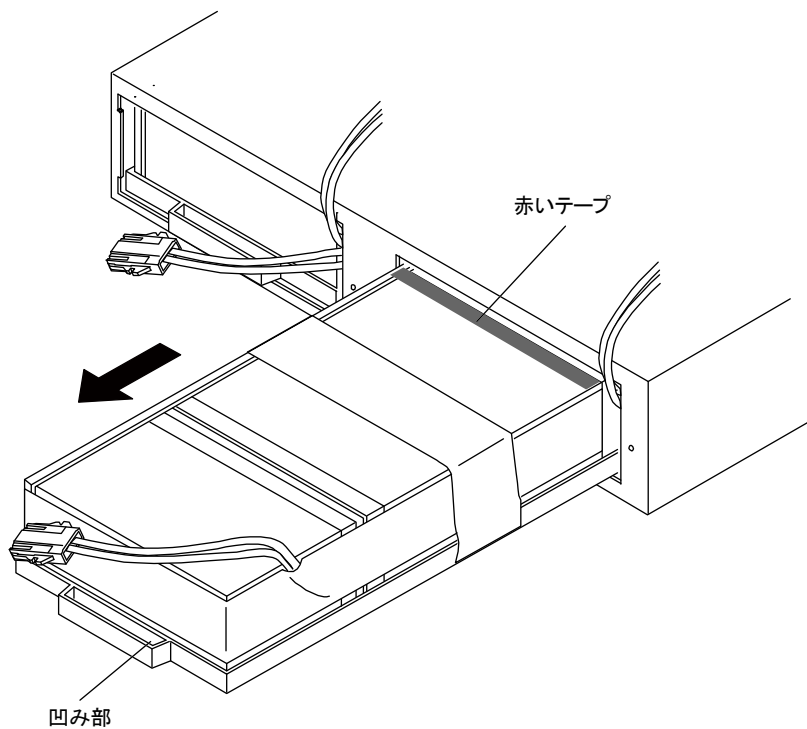
4. 板金カバーを右側に軽く押し込んでから(①)、左側を手前に引いて取り外します(②)。



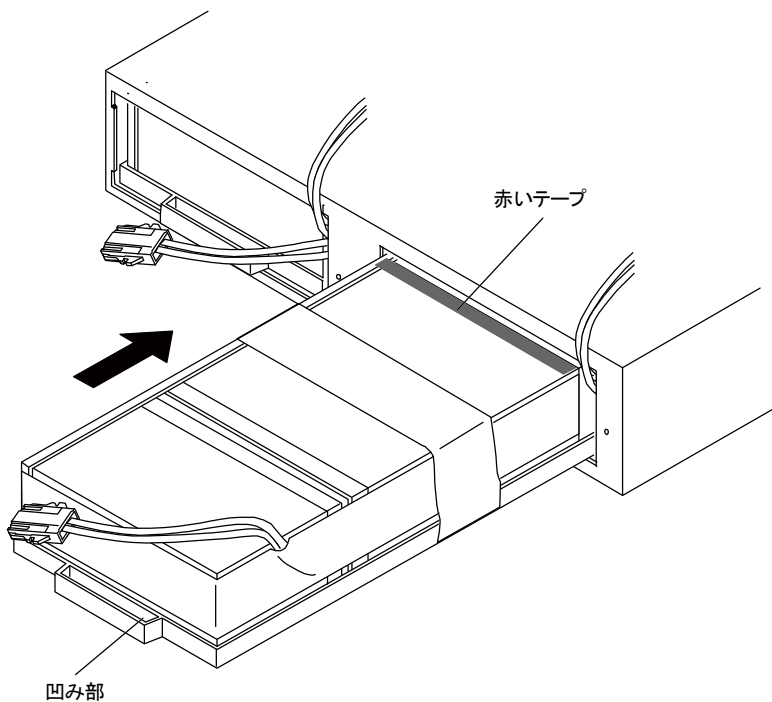
## 4 バッテリーの交換

### 4-1 バッテリーの交換

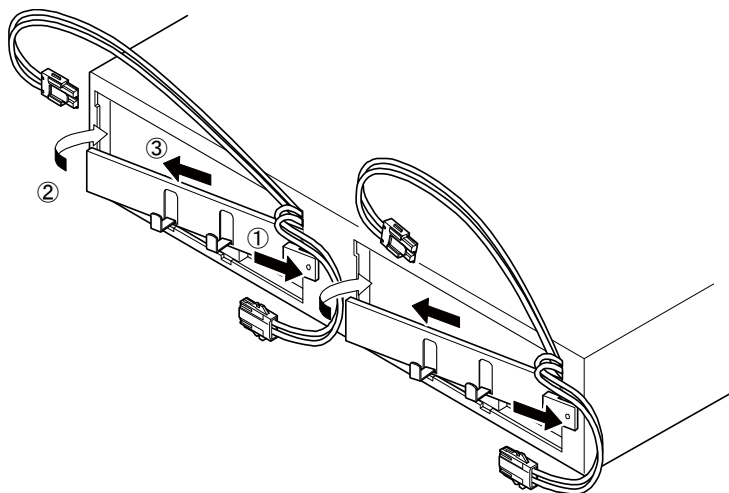
5. バッテリー下部の凹み部に指をかけて、バッテリーを引き出します。  
※ バッテリーのケーブルやコネクタを持って引っ張らないでください。  
バッテリーの天面に貼ってある赤いテープが見えたら、あと10cm でバッテリーが完全に  
取り出せます。  
バッテリーは重量物です。両手でしっかりと持ち、落下させないように注意してください。



6. 新しいバッテリーを奥まで挿入し、収納します。  
・バッテリー：型式 BUB150RA



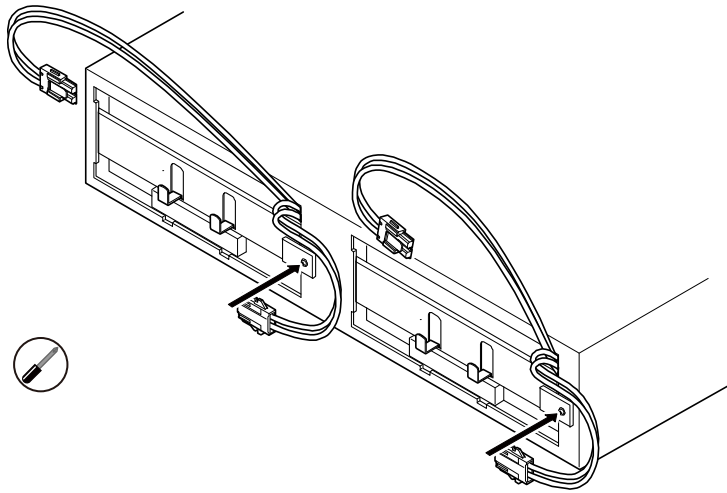
7. 板金カバーの右端を本機に差し込み(①)、左側を押し込んでから(②)、左へスライドします(③)。



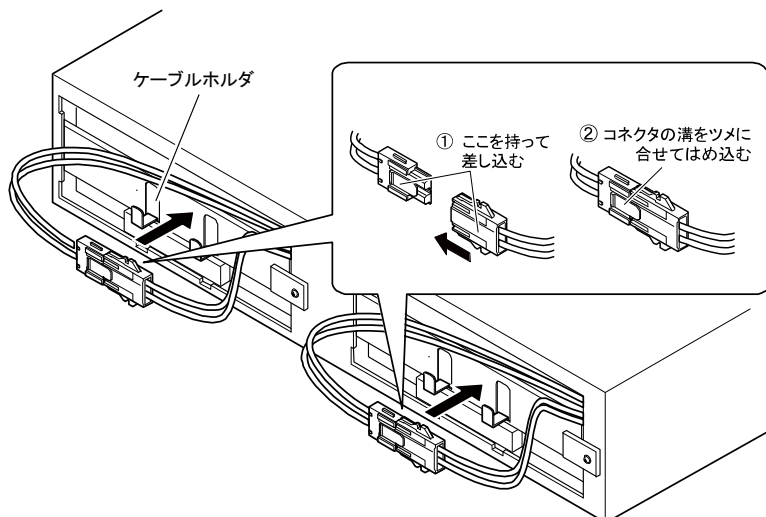
## 4 バッテリーの交換

### 4-1 バッテリーの交換

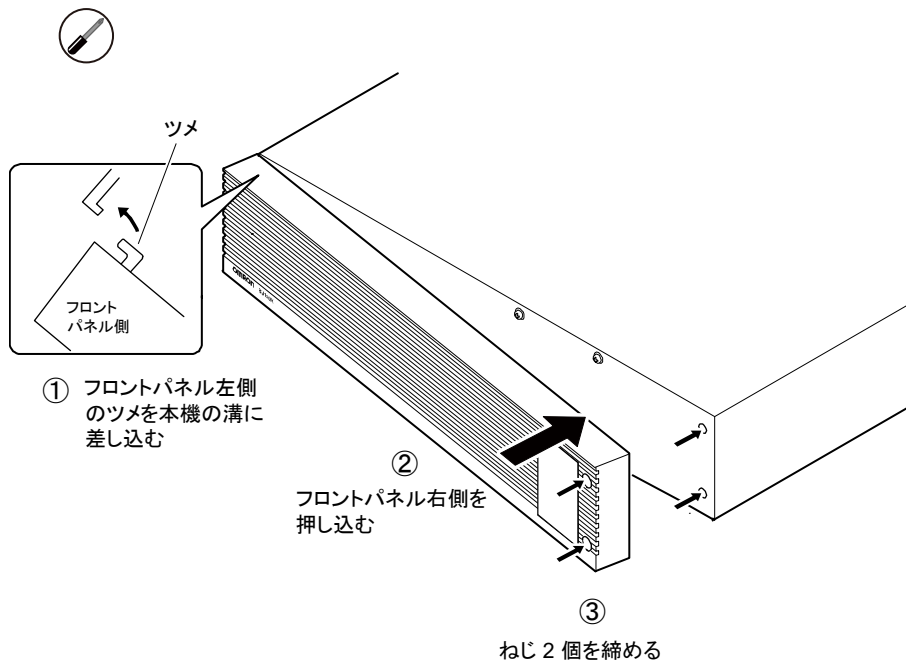
8. 手順3 で外したねじ(1 個)を取り付け、板金カバーを固定します。



9. バッテリーコネクタを差し込み(①)、コネクタの溝をツメに合わせてはめ込みます(②)。バッテリーケーブルをケーブルホルダに取り付けます。
- ※ バッテリーの接続が不十分な場合、本機が正常に動作しません。しっかりとバッテリーコネクタを差し込んでください。
- ※ 運転停止(電源出力停止)状態で交換作業を行っている場合、コネクタ接続時にパチッと音がすることがありますが、異常ではありません。



10. フロントパネル左側のツメを本機側の溝に差し込み(①)、フロントパネル右側を押し込みます(②)。  
フロントパネル右側をねじ(2個)で固定します(③)。



## 4 バッテリーの交換

### 4-1 バッテリーの交換

11. 交換作業が終わったら、自己診断テストを実施します。  
テストが終了すると、自動的に運転状態に戻ります。
  - 運転停止（電源出力停止）状態でバッテリー交換を行った場合  
AC 入力プラグを電源コンセント（商用電源）に差し込み、「電源」スイッチを押してから離して UPS 本体の電源を入れてください。自動で自己診断テストが実施されます。  
テストが開始されたら状態表示は「FU」になり、正常に終了すると「On」と表示されます。
  - 運転中（電源出力中）にバッテリー交換を行った場合  
手で自己診断テストを実施します。  
まず「ブザー停止 / テスト」スイッチを 5 ～ 9 秒押し続けてから離します。  
テストが開始されたら状態表示は「FU」になり、正常に終了すると「On」と表示されます。

※「バッテリー交換」ランプが点滅しているときは、自己診断テスト終了後に消灯します。
12. バッテリー寿命カウンタをリセットします。  
「ブザー停止 / テスト」スイッチを 10 秒以上押してから離し、バッテリー寿命カウンタをリセットしてください。リセットが完了すると「bd」と表示されます。
  - 運転停止（電源出力停止）状態の場合  
ブザーが「ピー」（連続音）と鳴ったらスイッチを離してください。
  - 運転中（電源出力中）の場合  
ブザー音が「ピッピッ」（断続音）から「ピー」（連続音）に変わったらスイッチを離してください。
13. バッテリー交換日を記録します。  
バッテリー交換日は、付属のバッテリー交換日ラベルに記入し、本機に貼り付けてください。

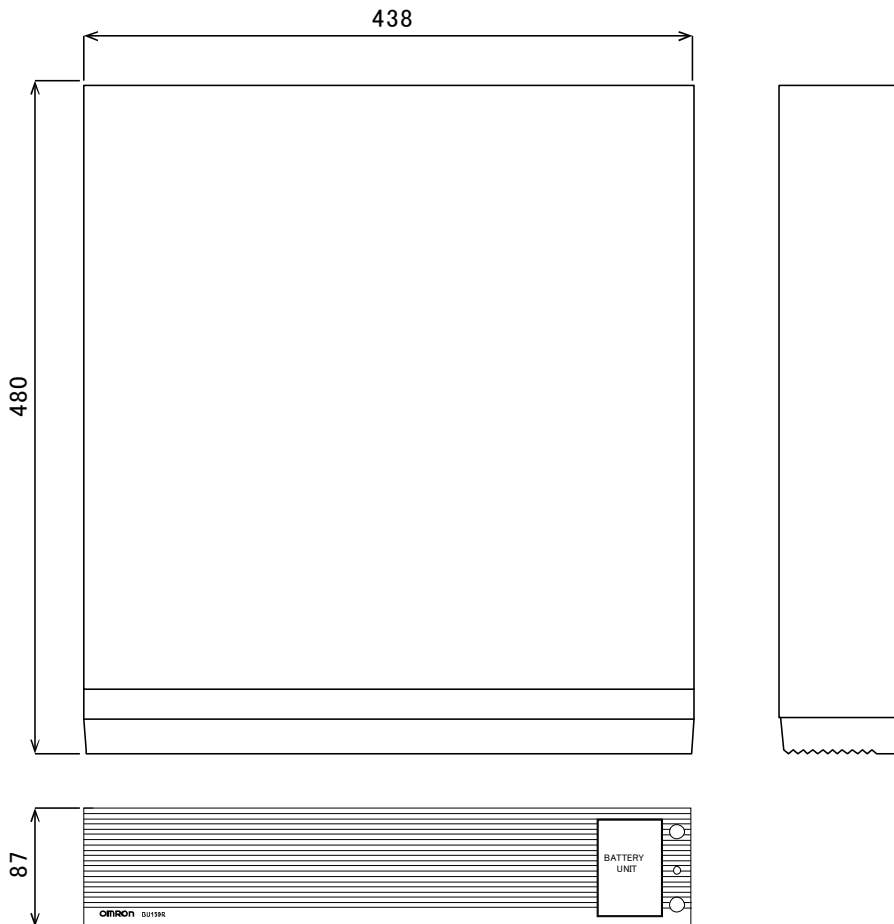


# 5 参考資料

## 5-1 外形寸法図

※ 単位：mm / 公差 ±2mm

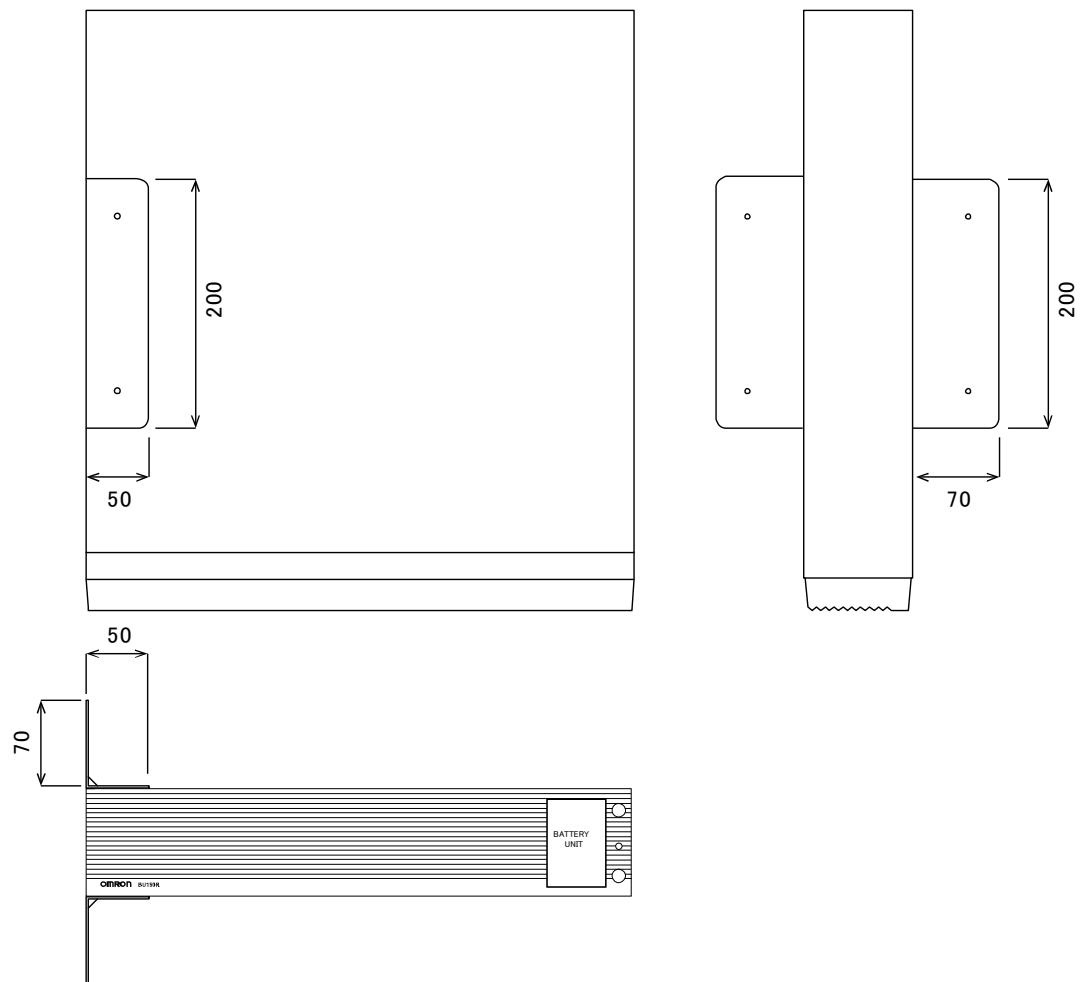
### ■BUM150RA 本体



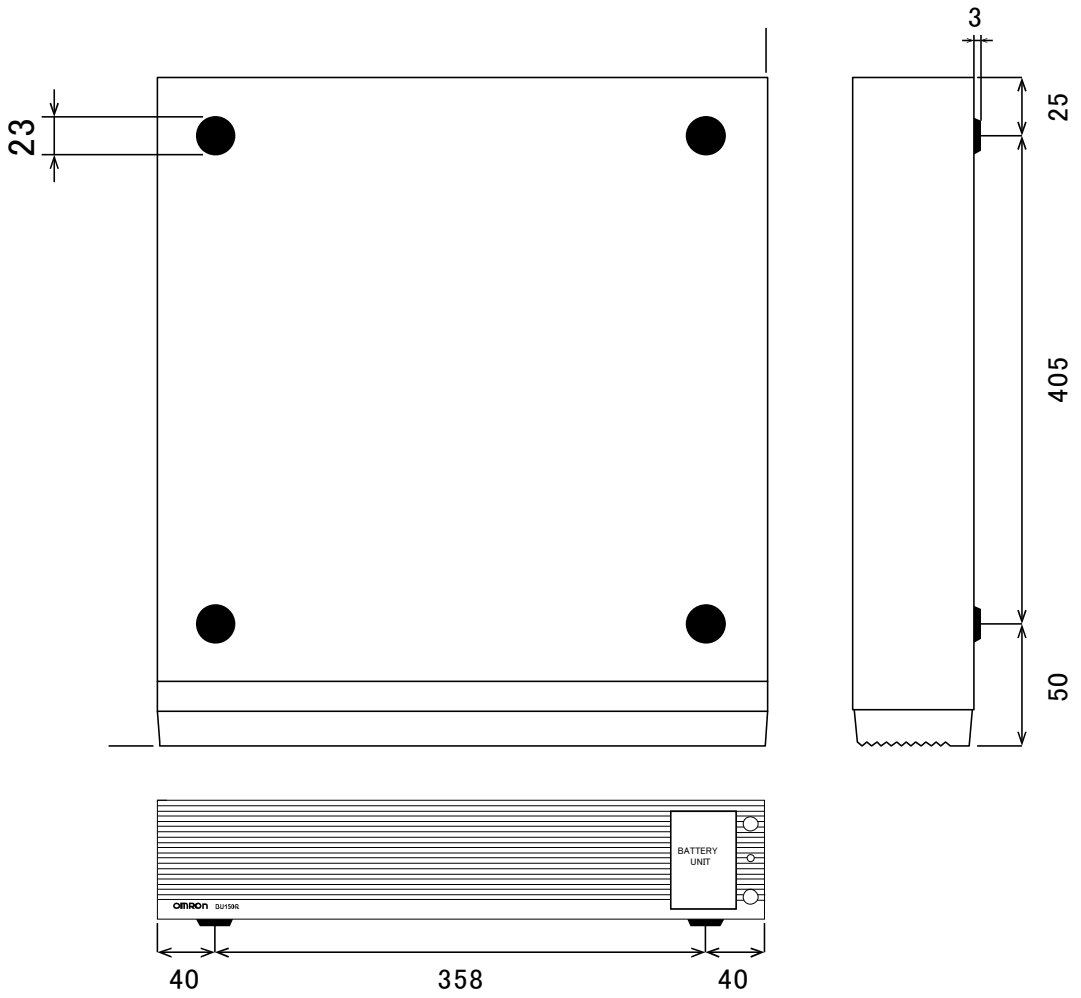
## 5 参考資料

### 5-1 外形寸法図

#### ■縦置きスタンド



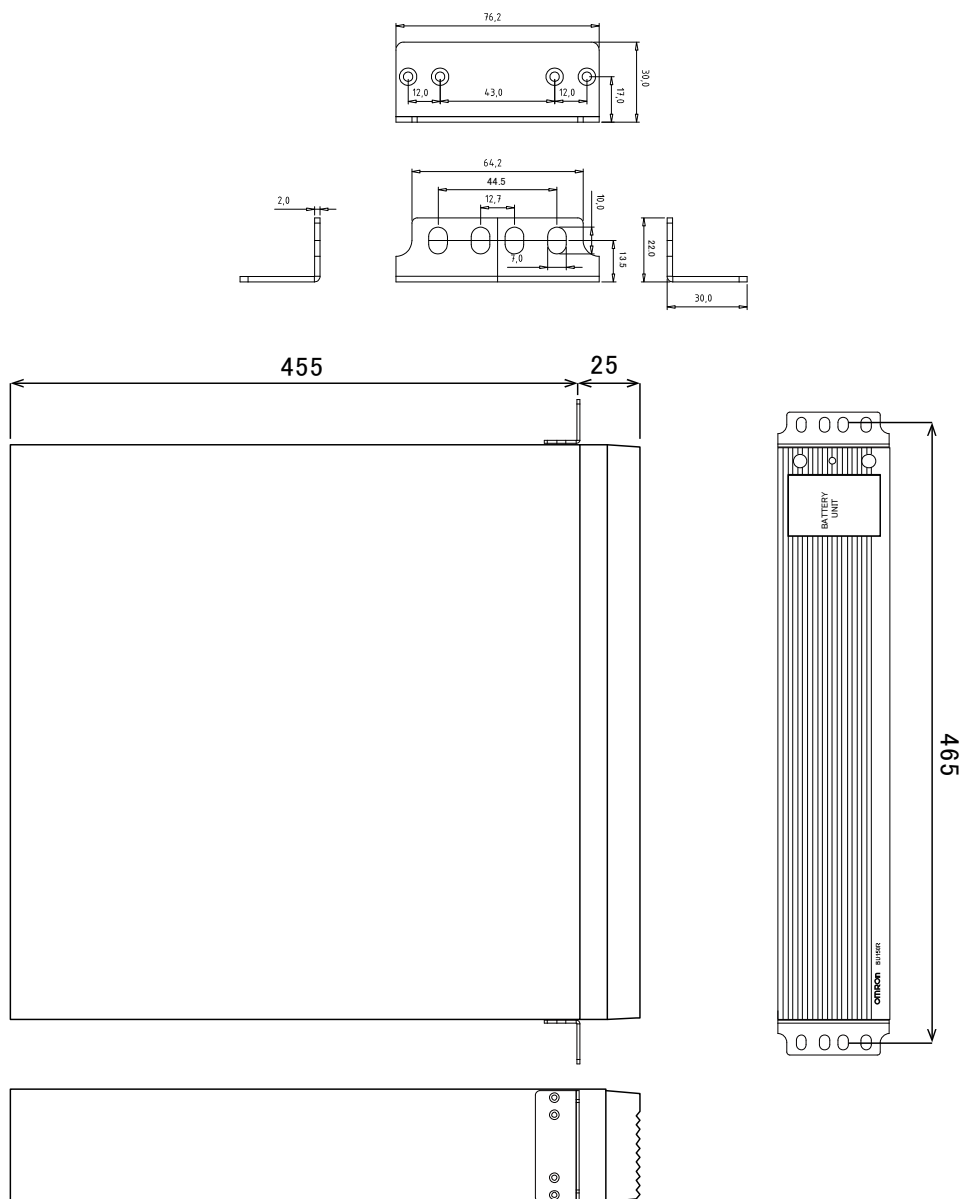
## ■ゴム足



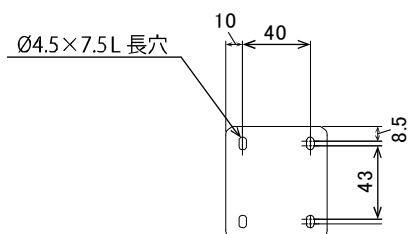
## 5 参考資料

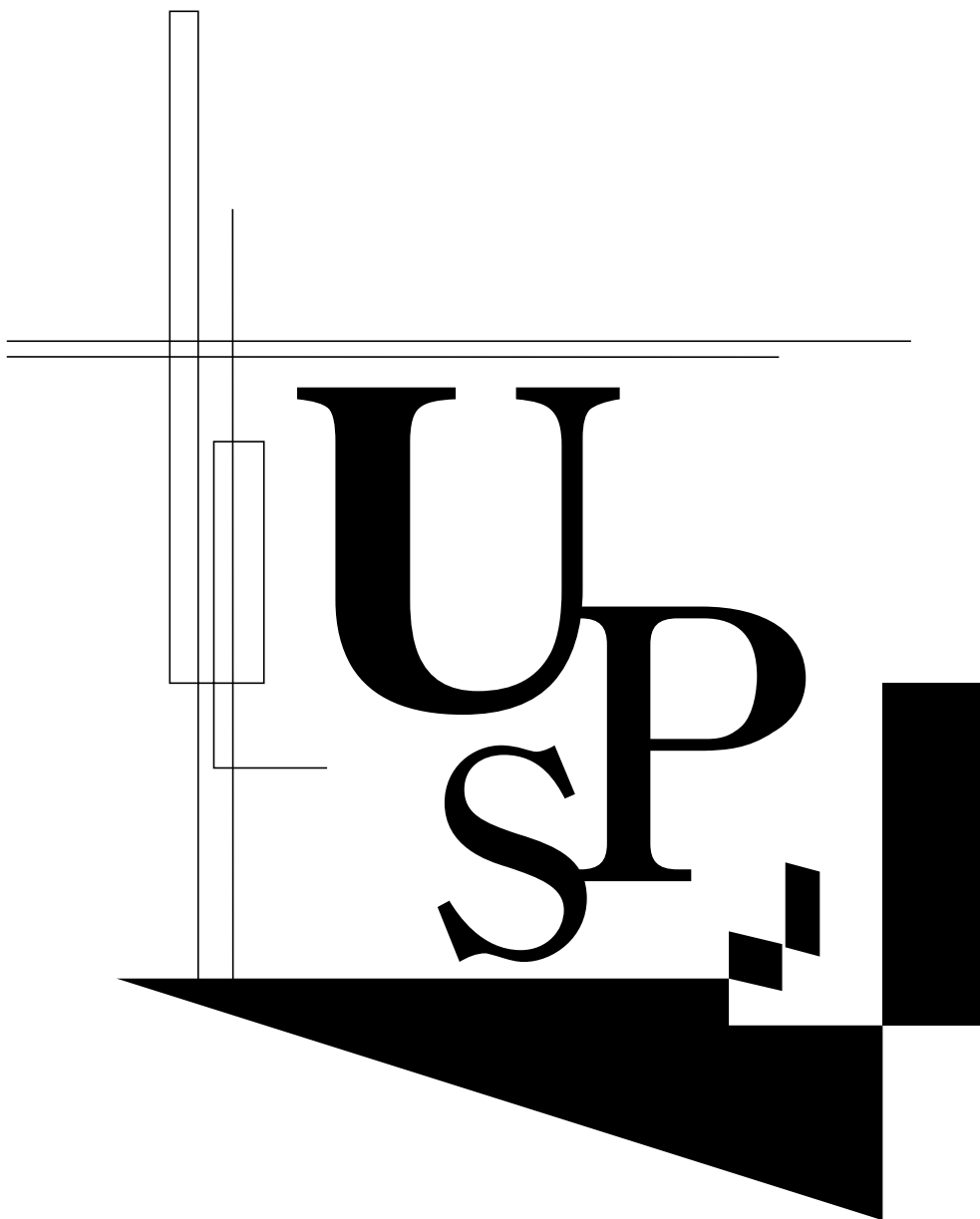
### 5-1 外形寸法図

#### ■ 耳金具装着時



#### ■ 複数台ずれ防止金具





本取扱説明書に記載されている各会社名、各社製品名は各社の商標または登録商標です。  
本取扱説明書の内容の一部または全部を無断で複製、転載することは禁止されております。  
本取扱説明書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

© OMRON SOCIAL SOLUTIONS CO.,LTD. 2016

**オムロンソーシアルソリューションズ株式会社**